

エディJ 31番目の柱

日本代表の広瀬俊朗（東芝）は、試合に出る選手の準備運動を手伝った後、満員の客席を見つめた。9月19日、南アフリカ戦のキックオフ前だった。

やっとここまで来た。子どもの頃からシャイで、人前で目立つのは苦手だったと母の律子さんはいう。照れ笑いのような表情に、3年半の苦闘がにじみ出た。

今大会は31人いるメンバーの「31番目」だ。戦力としてより、精神的支柱としての役割を期待された。ここまで3試合はメンバー外。エディ・ジョーンズヘッドコーチから「試合には出られないかもしれない」と言われている。

現主将のリーチ（東芝）がプレーで引く張るなら、前主将の自分はグラウンド外でチームを支える。「出られないのは悔しい。でも、そんなのは小さなこと。代表ってそういうところ（自分のエゴを出す）じゃない」。歴史を変えるチームの一員でいることが、「最高に楽しい」と言う。試合の

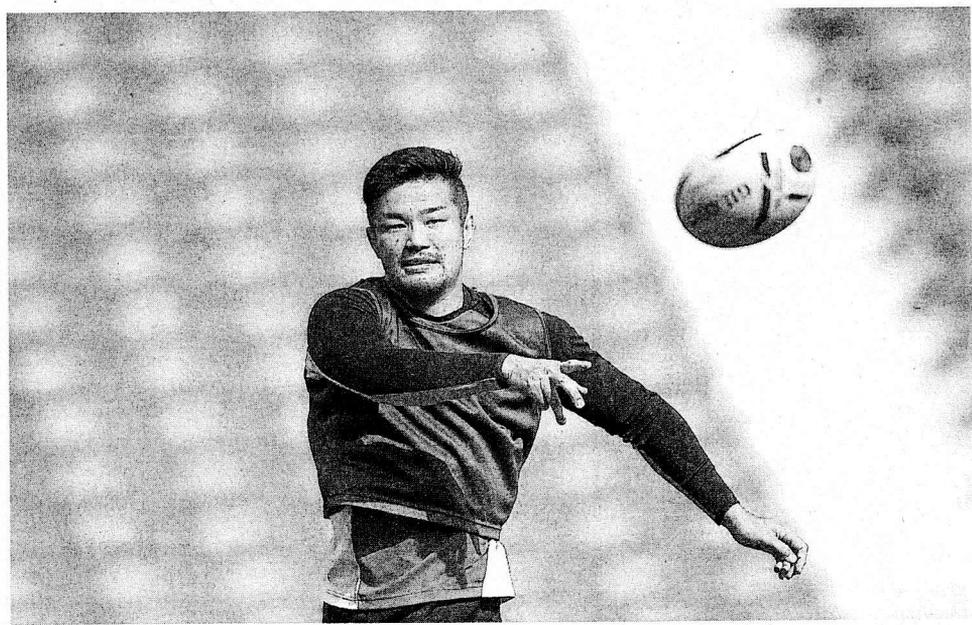
グラウンド外でチーム支える広瀬俊朗

ビデオ撮影にも、相手チームを模した練習台にも、全力で取り組み。トシさんは自分を押し殺してきている。あの人のために勝ちたい」と立川（クボタ）は話す。

伝母校の大阪府立北野高出身。3年の時、府予選で負けた後、1人で強豪の大工大高（現・常翔学園）に練習に通った。野上友一監督は「最初は慣れるので大変だったと思う」。大勢のエリート選手の中から主将に抜擢された高校日本代表の海外遠征では、重圧で胃腸の調子が悪くなった。

記者にとっては慶大ラグビー部時代の1学年後輩だ。仲間を大切にす一方、自分や周りを注意深く見つめる冷静な一面があった。きつと高校時代、孤独と向き合った時間と無縁ではないだろう。

6月、広瀬は言っていた。「最悪、31人のメンバーに選ばれなくてもいいと思う。僕が必要ないくらい、チームが成熟すればそれでいい」。本物の覚悟に触れた気がして、何も言えなかった。（野村周平）



練習でパスを投げる日本代表の広瀬。チームの精神的支柱としての役割も担うA.F.P.時事

■ 1次リーグB組星取表

順位	チーム	南アフリカ	スコットランド	日本	サモア	米国	勝点	得失点差
①	南アフリカ		○34-16	●32-34※	○46-6※	○64-0※	16	120
②	スコットランド	●16-34		○45-10※	10日	○39-16※	10	40
③	日本	○34-32	●10-45		○26-5	12日	8	-12
④	サモア	●6-46	10日	●5-26		○25-16	4	-52
⑤	米国	●0-64	●16-39	12日	●16-25		0	-96

※はポイント獲得。南アフリカは日本戦でB.P.P.2点。試合日は日本時間

日本躍進 支える献身

北野高出身 広瀬前主将



試合出場はないが、しっかりとチームの柱になっている前主将の広瀬 (共同)

ラグビーのワールドカップ(W杯)イングランド大会で日本代表前主将の広瀬俊朗(33)＝東芝＝は出場機会こそないものの、快進撃を陰から支えている。「どんな状況でも楽しめることはある。出られないのは悔しいが、勝つのは本当に楽しい」とチームへの献身に

充実感をのぞかせた。文武両道にこだわり、進学校の大阪・北野高から指定校推薦で慶応大理工学部へ進んだ。進学した大学こそ違えど北野高ラグビー部とくれば橋下徹大阪市長(早大政治経済学部)の後輩だ。身長173センチ、複数を武器に活躍した。東芝で主将としてチームを引っ張る姿に感銘を受けたエディー・ジョーンズ・

出場機会なくても「楽しい」

ヘッドコーチが2012年の就任後「素晴らしいキャプテンシー」と代表経験がほとんどなかった男を迷いなくリーダーに任命した。13年は強豪ウェールズから金星を挙げる立役者に。だが、14年に指揮官から先発入りが難しいことを理由に主将交代を告げられ、ポジションも変更。失望感にさいなまれながら、若手に声を掛ける気遣いを忘れず、自身の向上にも努めた。W杯では分析スタッフを手伝ったり、仮想の相手役を務めたりと脇役をいとわない。主将のリーチ・マイケル(東芝)は「精神的に助けられている」と感謝する。初の大舞台に立ちたい気持ちを抑え、広瀬は「ここまできたらチームの行く末を最後まで見届けたい」と11日(日本時間12日)の米国との1次リーグ最終戦を見据えた。

(ウォリック 共同)